

# IB インカレ 2017（第7回）大会概要

2017年7月6日

2017年8月5日改定

IB インカレ 2017 審査委員会

## 1) IB インカレ 2017 年大会（第7回）の開催について

- ①開催日 2017年12月9日（土）
- ②主催校 慶應義塾大学商学部井口研究会・経済学部三嶋研究会共催
- ③会場 慶應義塾大学三田キャンパス
- ④出場予定チーム 16 大学 18 ゼミ 30～35 チーム  
（新規出場ゼミ：東京経済大学小山ゼミ）
- ⑤オブザーバーゼミ  
淑徳大学 古川裕康ゼミ  
一橋大学 佐々木将人ゼミ

## 2) 審査と表彰について

- ①審査方式
  - ・ 論文点（70点）とプレゼン点（30点）の合計点で競う
  - ・ 論文審査項目を改定する（8月中旬に公開予定）
  - ・ プレゼン審査項目を改定する（9月中旬に公開予定）
- ②予選と決勝の方式
  - ・ 論文審査点，上位チームと下位チームが混ざるように予選グループを組む（例えば，ABC の3つの予選グループの場合，論文点1位=A，2位=B，3位=C，4位=A，5位=B，6位=C，8位=A…へと順に配置する）
  - ・ 午前予選，午後決勝方式を採用する
  - ・ 午後の決勝出場枠（ファイナリスト）は8チームを予定している
  - ・ 予選では6グループ（ブロック）の設置を予定している（各予選グループに4～6チームを配置する）
  - ・ 各予選グループより上位1チームが午後の決勝へ進む
  - ・ 各予選グループ2位通過の6チームの中から，さらに上位2チームが決勝へ進出する（ワイルドカード方式）
  - ・ 英語セッションと日本語セッションは別に予選グループを設ける
- ③表彰方式
  - ・ 決勝進出のファイナリスト（8チームを予定）を入賞とする
  - ・ 上位3チームを表彰する
  - ・ 優勝チームには優勝トロフィーを授与する

- ・ 決勝進出チームを除く予選出場チームの中からも優秀なチームを表彰する（論文賞, プレゼン賞, 審査員特別賞などの賞あり）

④論文形式について

- ・ IB インカレウェブサイトの「執筆要項」に準ずる

⑤プレゼン形式について

- ・ 予選, 決勝ともに報告時間 15 分間, 質疑応答 10 分間とする
- ・ 予選, 決勝共に IB インカレ出場学生から質問を受け付け, その後時間に余裕があれば, オブザーバー学生と審査員からの質問やコメント受け付ける（出場学生による質問と活発な議論を期待している）
- ・ 司会・進行は主催校の学生が担当する

⑥英語セッションについて

- ・ 論文を英文で提出した場合は, 論文点に 5 点を加点する
- ・ 英文で提出された論文は自動的に英語セッションへのエントリーとなり, 当日の発表での使用言語も英語とする
- ・ 英文の論文を日本語セッションへエントリーすることはできない
- ・ 質疑応答での使用言語は原則英語とするが, 議論を活性化するための特別ルールを審査委員会にて検討しており, 9 月中旬に公開予定

3) その他

①大会までのスケジュール

・ 出場チーム仮エントリー・・・9 月 29 日（金） 21 時締切

各ゼミ, 4 チームまでの仮エントリーを認める

本選への出場チームは各ゼミより最大 2 チームとする

（論文提出時に 2 チーム以内に絞る）

チームごとに代表学生を登録し, その後の審査委員会からの連絡は代表学生へメールで行う

仮エントリー方法については, 9 月初旬ごろにアナウンスを行う

・ 論文提出・・・11 月 15 日（水） 21 時締切

審査委員会は速やかに論文審査に入り, 論文審査結果ならびに予選組合せを本選前に全出場チームへ公開する

論文提出方法: 10 月中旬ごろにチーム代表者へメールにて案内する

②IB インカレ 2017 審査委員会メンバー

内田先生（富山大学）, 井口先生（慶應義塾大学）, 三嶋先生（慶應義塾大学）, 高橋先生（立正大学）, 大木先生（東京大学）

庶務担当: 臼井先生（日本大学）

以上